

学園 だより

- 2 ■ 卒業式・修了式を迎えるにあたって
- 4 ■ 進学・就職体験記
- 6 ■ 第60回工嶺祭
- 7 ■ 海外研修
- 8 ■ 学生の活躍
- 10 ■ 2学年 研修旅行 / 3・4学年 企業・現場見学
- 12 ■ 後援会だより / 校内短信 / 表紙のことば

卒業式・修了式を迎えるにあたって



校長
早瀬 伸樹

卒業・修了を迎える皆さんへ

本科5年生、専攻科2年生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。
新たな門出を迎え、期待に胸をふくらませていることと思います。皆さんがこれから社会に出ていくうえで、どのような能力が求められるのでしょうか。経済産業省が公表している「未来人材ビジョン」では、デジタル化や脱炭素化の進展によって事業の変革が不可欠になり、「責任感」「真面目さ」「注意深さ」といった資質に加えて、「問題発見力」や「革新性」が、今後ますます重要になると示されています。
皆さんは、高専において自らの興味や関心に没頭しながら学び、その過程で豊かな創造性と高度な専門性を培ってきました。また、個性豊かな仲間と協力し、社会課題や生活課題の解決に主体的に取り組んできました。こうした経験は、「未来人材ビジョン」で示される、新しい産業を創り出し、社会を変革する人財となるための大きな力となっています。実際に、高専を卒業した多くの先輩方が産業界の最前線で活躍し、社会をリードしています。皆さんも次の時代を牽引する人材として、大いに期待されています。どうかその期待に応える自信と誇りを持ち続けてください。
皆さんの母校である長野高専は、これからも皆さんの活躍を心から応援しています。



これまでの5年間

5M 木全 四季
(坂城町立坂城中学校出身)

周りから見たら小学生のような風貌で入学して5年が過ぎようとしています。入学当時は「ベイマックスを作る！」なんて腑抜けたことを言っていました。今では「地元坂城にリニアを通す！」なんて腑抜けたことを言っています。5年前のことをまるで昨日の事だと思えるくらい、この学生生活は順風満帆でした。それは家族と、時間を忘れさせるくらい楽しい時間を過ごさせてくれた仲間と、ご指導いただいた先生方のおかげだと思います。5年間、楽しい日々をありがとう！



厚恩感謝

5E 宇敷 美憂
(長野市立松代中学校出身)

入学当初、工学に触れたことになかった私は、初めての数学の授業で大パニックに陥りました。サイン？コサイン？ナニイッテルノ？と。しかし先生方の丁寧なご指導と周りの友人たちに支えられ、今、卒業を迎えようとしています。振り返れば、長いようであっという間の五年間でした。個性的な尊敬できる友人に出会い、日々レポートに追われながら、何ものにも代え難い時間を重ねてきました。お世話になった先生方、友人、そして支え続けてくれた親に心からの敬意と感謝を。ありがとう。さらば、高専。



筋肉は裏切らない

5C 須貝 汰一
(新潟県胎内市立中条中学校出身)

高専に編入してからの2年間、ほとんど毎日ダンベルを振り続けました。どれだけレポート作成、試験勉強に追い込まれても、ジムに通い、筋肉と対話を続けました。その結果、成績を代償に、強靱なメンタルと誰にも負けない肉体美を得ることができました。継続することの大切さを高専での2年間で学びました。この経験を社会でも活かし、さらなる高みを目指して頑張ります！在校生の皆さんもレッツプロテイン!!



高専のおかげで

2AP ナビラ
(マレーシア出身)

2021年に3年次編入で長野高専に入りました。最初の半年はコロナ禍でオンライン授業でしたが、先生や友人たちの支えで楽しく過ごせました。長野高専では、日本人だけでなく他国の学生とも交流し、文化や価値観の違いを学ぶ良い機会となりました。専攻科では3か月の学外実習を通して、社会での実践的な経験も積むことができました。学校生活で大変なこともありましたが、自然豊かな長野の環境の中で、自分自身を見つめ直すことができ、大きく成長することができました。5年間本当にありがとうございました。



高専生活5年間を経て

5S 山口 果凜
(松本市山形村朝日村中学校組合立鉢盛中学校出身)

長野高専で過ごした5年間は、社会へ踏み出すための土台を築いた時間でした。専門的な知識や技術に加え、寮生活を通して、集団の中での責任感や思いやりの大切さを学びました。実験実習やレポート課題、日々の生活の中で思うようにいかないこともありましたが、仲間と支え合い、乗り越えた経験は大きな財産です。先生方の指導と仲間との経験を糧に、就職後も学び続け、社会に貢献できる技術者を目指していきたいです。



高専での学びを糧に

5J 小島 悠月
(安曇野市立明科中学校出身)

プログラミングへの憧れで高専へ入学しましたが、C言語や電気回路という高い壁に直面しました。友人たちと励まし合い学んだ日々は、編入試験を乗り越える糧となり、確かな自信に繋がりました。高学年ではバンド活動にも注力し、工嶺祭後夜祭のステージに立てたことは一生の宝物です。卒業後は大学へ進学します。高専で培った粘り強さと専門知識を武器に更なる学びに挑戦します。先生方、友人たち、両親への深い感謝を胸に、新天地でも全力で取り組みます！



自分らしさの7年

2AE 玉木 駿汰
(長野市立若穂中学校出身)

人生のおよそ3分の1の年月で、工学をはじめ、多方向に見識を深める事ができました。その中でも、自分らしさが最も育まれたと思います。楽しいことも、苦い経験も消化して、今の自分になっています。長野高専が持つ寛容な雰囲気と、恵まれた友人関係、そして、成長を見守ってくれた家族のおかげです。
来年度からは社会人になります。今まで以上に困難なこともあり、揉まれていくでしょう。自分らしさを失わず成長し、より大きくなった私で恩返しをしていきたいです。



5年間の助走
5M担任 宮下 大輔

卒業おめでとうございます。磨いてきた技術と探究心は、この先きっと皆さんを支えてくれます。失敗を恐れず、好奇心を武器に自分の未来を切り開いてください。皆さんの飛躍を楽しみにしています。



感謝心と大切心
5E担任 百瀬 成空

ここまで健やかに学び卒業の日を迎えられたことは、多くの支えやこの時代に産まれた幸運に依る所大です。取り巻く全てに「有り難い」という感謝心を持てば、そこから大切心が生まれ、思考や行動に心が宿る本気の人生を歩めます。卒業おめでとう。



三方よし
5S担任 網谷 健児

卒業と同時にそれぞれの道へ進みます。その道の苦楽を決めるのは自分自身。どうせ通る道でしたら、楽しい道に作り変え、その楽しみを自分の利益としましょう。利益は自分で独占せず「三方よし」が大事です。



"慣れ"のない道を
5J担任 力丸 彩奈

人は物事に慣れると、脳の情報処理能力が上がり、時間の流れが速く感じるそうです。4、5年生があつという間だったのは、そのせいかもしれません。この先、時間の流れがゆっくりに感じられるくらい、新しいことに挑戦し続けてください！



格好良く生きる
5C担任 奥山 雄介

皆さんはこれから自分が選んだ道を進んでいくことになりますが、上手に進んで行くことも、時にくじけて立ち止まってしまうこともあるかと思いますが。そんな中で「格好良い」の意味をそれぞれで見つけ出してください。

進学 就職

体験記

大学の編入学・大学院入学試験に合格した先輩、就職先に内定した先輩に体験記を書いていただきました。在校生の皆さん、ぜひ参考にしてください。



進学



その時自分ができることを精一杯

2AE 内藤 さくら
(佐久穂町立佐久穂中学校出身)

進路選択の時、私は明確にやりたいことがあるわけでもなく、まだ働きたくないという気持ちもありました。しかし、就職はいつか必ずすると考えたとき、学生として学ぶことに価値を感じ、進学を決意しました。これまで「その時自分ができることを精一杯」を胸に努力を重ね、研究では3回の学会発表を経験しました。また、先生方や先輩方との人脈にも支えられ、無事に大学院へ進学することができました。進学後は大変なことも多いと思いますが、そのすべてを成長の糧として楽しめたいと思います。

就職



就職活動の楽しさ

5J 木戸岡 珠央
(安曇野市立三郷中学校出身)

私は大学で勉強するよりも、社会に出て自分のスキルを活用したいという気持ちから就職の道に決めました。自己PRを考えたり、ガクチカをひねり出すために1年生から記憶を遡ったり。大変でしたが、事前準備のおかげで春休み中に就職活動を終えることができました。面接会場へ行くと、その地ならではのおいしいご飯が食べられます。海沿いの企業だったので、面接終わりに海鮮丼を食べました。とてもおいしかったです。就職希望の人は、そんな楽しみ方を味わってみるのもいいかもしれません！

就職



不安と向き合った就職活動の記録

5S 傳田 悠真
(長野市立広徳中学校出身)

私の就職活動は順調ではなく、最初の2社で不合格が続きました。多くの友人が5月までに内定を決める中、取り残された私は不安と焦りでいっぱいでした。結果が出ず落ち込む日もありましたが、先生方に相談しながらエントリーシートの書き直しや面接練習を重ね、また落ちた企業のフィードバックから面接で自分に足りない点も明確になり、就活への向き合い方も変わりました。就活は思い通りに進まないこともありますが、その経験が必ず成長につながります。焦らず粘り強く挑戦してほしいです。

進学



努力未来
a beautiful star

5M 上條 巧人
(長野市立川中島中学校出身)

私は勉強をしていませんでした。3年生まで、ほとんど。しかし、4年生になってから目標のために努力をしました。身の丈に合った目標ではなかったと今でも思います。しかし、その過程で多くのものを得て、遂には目標にも手が届きました。動機も目標も努力の形も人それぞれです。私はそれがyoutuberで、阪大で、勉強だった。高専から大学へ行くのに興味がある皆様。高専からの大学編入は高校からに比べてかなり恵まれています。ぜひチャンスを活かしてください。努力の先は今よりちょっと晴れていますよ。

進学



本気になったら
進学が決まった件

5E 木村 竜也
(長野市立三陽中学校出身)

私が大学に行きたいと思ったきっかけは、高専4年のインターンシップでした。そこで半導体なるものに興味を持ち、「もっと学んでみたい」そんな思いが生まれました。ただ、成績は真ん中ぐらいだったので、簡単な道ではありませんでした。そのため分からない問題を毎日、先生や友達に聞いていました。自分の意志の強さがあったからこそ、努力を続けられ、合格できたと思います。皆さんも、もっと学びたいとか、新しい出会いをしたいとかなんでもいいです。本気になって大学を目指す理由をぜひ探してみてください。

就職



2度の就活期で得られた
気づき

2AP 廣田 龍之介
(長野市立三陽中学校出身)

私は専攻科に進学したため、本科5年のときに周りの友達が就活している様子を、少し余裕をもって見ることができました。そのときに強く感じたのは、「就活は早く動くほど気持ちが楽になる」ということです。実際、早めに準備していた友達は会社選びも面接も落ち着いていて、その姿を見て私も「早めに始めよう」と決めました。情報収集や準備に時間を使ったことで、自分の希望も整理しやすく、結果として慌てることなく、自分のペースで進められました。納得のいく進路選択につながったと思います。

就職



ここで働いてみたいなあ

5C 田中 梨花
(中野市立高社中学校出身)

私は、やりたい仕事を見つられずにいました。そんな中、4年生の夏に県外企業のインターンシップに参加しました。オフィスはとてもキラキラして見え、活き活きと働く社員の方々の姿を見て、カッコいい！と思い、「ここで働いてみたいなあ」とぼんやり思うようになりました。就職活動では県内外の企業を受けましたが、インターンシップで見た景色が忘れられず、その企業への就職を決めました。明確なやりたいことがなくても、「カッコいいなあ、やってみたいなあ」という気持ちを大切に、将来のことを考えてみてください！

先輩から

就職・進学共通

- 進路を明確にするのに早すぎるということはないので、様々なことに挑戦して自分の適性を見つけよう！
- 調べるだけでは分からないことも多いので、インターンシップやオープンキャンパスに積極的に参加しよう。
- 進路に迷ったときは、先生に相談するといいいアドバイスがもらえる。
- 面接練習は、いろいろな先生にお願いして慣れておくことが大切。
- 面接で具体的な答えができるように、自分の長所やアピールポイント、成長したことを意識して生活するとよい。
- 授業の内容や作った物について面接で深いところまで聞かれたので、しっかりと理解しておくことが大事。

就職

- 何か1つでもアピールポイントを持っていると有利になる。
- 就職後にしたいことを明確にすると、ある程度業種や会社が絞れる。
- この企業でなければだめだと思えるようなところを妥協せずに探そう。
- 就職前の学生のうちにやりたいことをやり切ろう！

進学

- 授業の内容を定期試験ごとに理解しておく、受験勉強が楽になるし、3・4年で高い成績を取っておけば、推薦が狙える。
- 試験の過去問には解答がない場合もあるので、早めに入手して科目の先生と解答を作ることから始めよう。
- TOEICスコアが必要になる学校もあるので、4年生のうちに高いスコアを獲得しておくことと良い。
- 勉強すれば偏差値が高い学校にも行けるので、志望校を早めに決めて、諦めずに勉強しよう！



10年後にどのような技術者になっているか想像してみよう

4年学年主任 西川 嘉雄

4年生の皆さんは、進路セミナーで就職・進学に向けた取り組み方について学びました。また、卒業生講演会では、先輩方から仕事の楽しさや技術者としての大切にしていく考え方を聞くことができました。これを通して、多くの学生がすでに企業研究を進め、就職・進学に向けた準備に取り組んでいることと思います。

一方で、進路選択においては自己分析が非常に重要です。これまでの自分自身を客観的に整理することで、エントリーシートや面接においても、ぶれることのない自分を表現できるようになります。

これからの積み重ねが、きっと自信につながっていきます。計画的に試験勉強や面接に組み込みながら、「ここまで頑張ってきた」と感じる経験を増やしていきましょう。その一つ一つの努力が、前向きな気持ちで進路に向き合う力となってくれます。「こんなに頑張ったのだから合格するに違いない。」努力を自信にしてください。

第60回 工嶺祭

テーマ **せいしゅん 青瞬**

第60回工嶺祭にご来場いただき、誠にありがとうございました。今回のテーマは「青瞬」。学生の二度とない青春時代の一瞬の輝きと、その爆発的な熱量を全ての方にお届けしたいという想いで開催しました。

各クラスやステージの企画は、高専生がこの日のために全てを懸けて準備した集大成であり、テーマ通り、学生の持つ情熱と創造力が満ち溢れるものとなりました。ご来場者のたくさんの笑顔を見ることができ、大変嬉しく思っています。不手際もあったかと思いますが、温かいご対応に心より感謝申し上げます。また、ご協力いただいた全ての方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。



体育祭

リレーやサッカー、バレーなどのスポーツ競技のほか、誰でも楽しめるレクリエーション競技も行われました。どの競技も白熱した戦いが繰り広げられ、クラスの仲間を全力で応援する様子が見られました。仲間との友情を深めることができ、翌日から始まる一般公開に向けて、クラスの団結も一層高まりました。



夜祭

学生たちが設営したステージと、本格的な音響・照明設備のもと、バンドやDJ、ダンスなどたくさんの練習を積み重ねてきた発表が披露されました。会場は大盛り上がりで、熱気と学生たちのエネルギーに包まれました。

ロータリーステージ発表



体育祭終了後に開催された「キックオフイベント」、一般公開日にはバンドや部・同好会による発表や「なりきりGP」といったイベントを開催しました。ステージの前には多くの人が集まり、会場一体となって楽しんでいました。

屋台



焼きそばやポテトなどのおなじみの屋台から、肉巻きおにぎりや焼きマシュマロといった珍しい屋台まで、様々な屋台が出店しました。どの屋台も好評で行列ができ、大賑わいでした。

繋げ!

ころころマシン



記念すべき60回目の工嶺祭、「全校で1つの作品を作り上げよう」との思いから企画された「繋げ!ころころマシン」。各クラスが製作したからくり装置を繋げて1つの巨大な装置を完成させました。どのクラスも創意工夫に富んだ様々な面白いアイデアを、身近な材料を使って形にしていました。

クラス企画



賞よりも大切なもの
3IE2 西村 和人
(辰野町立辰野中学校出身)

自分たちのクラスでは「トロッコ大冒険」という企画を行い、文化祭全体でさまざまな賞をもらうことができました。もちろん賞をもらった事も嬉しいのですが、それ以上に制作過程をクラスメイトと全力で楽しめたことが良かったです。土日を潰して友達と一緒にクイズゲームの開発に励んだり、みんなで装飾を頑張ったりと、完成品だけでなく、制作過程にワクワクすることができたのがとても嬉しかったです。協力してくれたさまざまな人に感謝しつつ、来年もクラスメイトと文化祭を楽しもうと思います。

3CE 実行委員長賞
人力コーヒーカップ

「アクションが激しく、来場者が楽しんでいた」

3IE2 校長賞
トロッコ大冒険

「ハード・ソフトともに完成度が高く、非常に子供から大人まで楽しめる内容になっていた」

2-1 学生会長賞
ゲームセンター徳間店

「レトロな雰囲気が懐かしく、ゲームのアイデアが使われている技術が素晴らしいと感じた」

5S 学生主事賞
ロジカル☆マジック

「技術力・装飾・アイデアともに素晴らしいものだった」

海外研修



長野高専では、毎年、国際舞台で活躍できる実践的かつ創造的な技術者の育成を目指し、夏季休業期間を活用して6か国で海外研修を実施しています。

今年度のカナダ研修では、ノーザン・アルバータ工科大学とサスカチュワン・ポリテクニクにそれぞれ学生10名が参加し、現地の学生とともに講義・実習に取り組む中で、教育・研究環境の違いを肌で感じました。

また、体験活動や日本文化のプレゼンテーションを通して交流を深め、異文化理解と英語での発信力・コミュニケーション能力を高めました。



海外研修先一覧

- タイ……………テクニカルカレッジ (チョンブリ校、スラナリ校)
- 香港……………IVE (職業訓練校)
- シンガポール…リパブリック・ポリテクニク
- カナダ……………ノーザン・アルバータ工科大学 (NAIT) サスカチュワン・ポリテクニク (SASK)
- ベトナム……………ダナン大学
- カンボジア………環境省

海外研修で感じたこと



5S 吉澤 海人
(長野市立柳町中学校出身)

海外研修を通じて、現地の文化や人々と直接触れ合うことで、海外への関心がより深まりました。言葉や価値観の違いに戸惑う場面もありましたが、そのたびに工夫し乗り越えることで、自信を持てるようになりました。食事や習慣の違いを受け入れる柔軟さも身につけ、視野が大きく広がったと感じています。

研修では、連携校での授業参加に加え、観光や買い物などを通じて、現地の人々と日常的な交流を重ねることができました。さらに、現地の方々とのパーティーなど、普段では味わえない体験も数多くあり、貴重な経験ができたと思います。



留学で得た貴重な学び

2-5 佐々木 花歩

(信州大学教育学部附属松本中学校出身)



SASKでは、自然に囲まれた環境の中で多くの発見がありました。キャンプでは広い湖でのカヌーが印象的で、夜にはうっすらですがオーロラを見られたことが特別な思い出です。現地での暮らしや文化に触れながら、人との関わり方や世界の広さを肌で感じることができ、とても良かったです。この留学で得た経験は、新しいことに挑戦する楽しさを教えてくれた大切な時間となりました。

カナダに学んだ2週間

3MR1 小林 花楓

(信州大学教育学部附属長野中学校出身)



サスカチュワンのネイチャーキャンプでは、ムースの解体をして食べたり、カヌーでビーバーを探したりと貴重な体験ができました。夜には薄いながらもオーロラを観察し、皆で見た満天の星空に感動しました。アイスホッケーやフットボールの試合観戦は迫力ある試合に圧倒され、皆で盛り上がる楽しさを実感しました。カナダの大学ではたくさんの国の人に出会い、交流する中で各国の持つ課題や生活も知り、とても視野が広がりました。

多くの学びと出会いに恵まれて、とても素敵な経験ができました。



ROBOCON

第38回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025

今年の競技課題名は「Great High Gate」で、ロボットが様々なボックスを積み上げて大きなゲートを作り、人が乗った台車をそのゲートに通すことで得点します。長野高専からは、Aチーム「ぶっ飛ばシーソー」、Bチーム「ハニワニワ大王」が参加しました。Aチームは決勝トーナメントへと進出し、優勝とはなりませんでしたが、アイデア賞を受賞しました。応援ありがとうございました。



充実した1年



2-3 宮内 もも葉 (松本市立鎌田中学校出身)

「面白いロボットで会場を沸かせたい」という思いから、「ぶっとばシーソー」という奇想天外なロボットを制作してきました。突飛なアイデアのため、実現できるかどうか不安でしたが、愉快的メンバーのおかげで、大会で箱を「ぶっとばす」ところを披露することができました。アイデアを実現することの難しさと喜び、仲間の重みを実感した充実した1年となりました。

完成したのはロボットが、僕らが。



3E1 青井 琉生 (上田市立第四中学校出身)

ロボコンをすることで、最も育まれる力とは一体何でしょうか。知識や技術などもありますが、私は「年の差を問わない団結力」だと思います。4月から部室に集合し、学生と教員が一丸となり、知恵と技術を出しあって、ロボットを完成させる事ができるその力は、将来働くことになってから必ず役立つと、この3年間で実感しました。授業だけでは学べないことが学べる。それがロボコン部です。

Speech Contest

第40回 関東信越地区高等専門学校英語弁論大会 第19回 全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

11月8日(土)、小山工業高等専門学校にて「第40回 関東信越地区高等専門学校英語弁論大会」が開催されました。本校からは、水上菜々子さん・小林花凜さん・上島健希さん・東中晴輝さんの4名が出場しました。大会の結果、水上さんがレシテーション部門で第2位、上島さんがスピーチ部門で第1位に輝きました。

さらに、上島さんは1月24日・25日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「第19回 全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト」にて、シングル部門で出場し、見事第2位に入賞しました。

一人ではできなかった挑戦



1-4 水上 菜々子 (下高井郡木島平村立木島平中学校出身)

私は Maya Angerou の "Still I Rise" という詩を朗読しました。この詩は 黒人女性が人種差別や性差別から立ち上がる内容の詩で、表現に非常に苦戦しました。そんな時に表現だけでなく内容の深いところまで一緒に考察して下さったり、発音や動きの一つ一つまで丁寧に教えて下さったりした先生方のおかげもあり今回の成績を収めることができました。これからもいろんなことに積極的に挑戦していきたいです。

叔父と僧侶の静かなる力



2-4 上島 健希 (伊那市立東部中学校出身)

私は、インドで出会った僧侶・佐々井秀嶺氏と冒険家である叔父の生き方から学んだ「静かなる力」についてプレゼンテーションを行いました。二人を通して実感した、人の本当の力は日々の選択と生き方によって形づくられるという気づきを伝えることは容易ではなく、その深さを正確に届ける難しさも感じました。これからも表現を磨き、より伝わる発信を目指して精進していきたいです。



PROCON

第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

第36回高専プロコンは10月11日・12日に松江市で開催されました。

本校からは競技部門に「最速恋愛アルゴリズムIV」(4IE2 野村岳歩・橋爪黎・リムソワン)が出場しました。大会は「水都で創る、未来のイノベーション」をメインテーマに開催され、本選では競技部門に出場し、惜しくも決勝進出には届きませんでしたが、大きな学びとなる挑戦となりました。



高専プロコンに参加して



4IE2 橋爪 黎 (青木村立青木中学校出身)

今回の競技部門は「縁結び」がテーマで、盤面の数字を移動させペアを作るものでした。盤面の完成を最優先しつつ手数を減らすため、「手数は多いが確実な方法」と「成功率は低い手数の少ない方法」の二つを実装しました。本番ではベストを尽しましたが力及ばず負けてしまいました。しかし、現地の雰囲気を肌で感じられたのは大変良い経験でした。来年度は後輩たちにもこの体験をしてもらえるよう、準備を進めていこうと思います。

DESIGNCON

第22回 全国高等専門学校デザインコンペティション でざこん2025ふくい「織りなす」

全国高専デザコンは、ロボコン、プロコンに続く第三の競技であり、土木・建築を学ぶ学生を中心として、全国から多くの学生が参加する一大イベントとなっています。本校からも毎年多くの学生が参加し、仲間と協力して自分たちの考えを形にしていくことの面白さを学ぶ良い機会となっています。今年は福井県鯖江市での開催でしたが、次年度の開催は北海道函館市。冬の函館に行かないか？



全国大会を終えて



5C 師田 結衣 (坂城町立坂城中学校出身)

デザコン同好会では、構造・空間・創造・AMの4部門で活動しています。

私が所属する構造部門では、指定された荷重に耐える橋を紙で製作しています。昨年からはレーザーカッターやCADを活用した新しい取り組みに挑戦してきました。

11月の全国大会では悔しい結果となりましたが、今年の反省を生かし、来年はより精度の高い橋づくりに取り組んでいきます！



2学年 研修旅行

2学年台湾研修旅行は11月4日(火)から3泊4日で実施し、海外研修として3年目を迎えました。現地では、台北市立大安高工との学生交流を皮切りに、九份・十分・淡水でのコース別研修、龍山寺、

故宮博物院、忠烈祠を見学し、歴史と文化を肌で感じました。

今年度は、現地大学生との市内散策(B&Sプログラム)や、夜市での夕食体験など、自由散策の時間を充実させました。これにより、学生一人ひとりが事前の調査に基づき、自身のペースで異文化に飛び込む機会を作りました。

文化の違いに戸惑う学生もいましたが、帰国後アンケートでは90%もの学生が研修に満足したという結果になりました。本研修の成果は、現地の方々の優しさに触れた経験を通じ、異文化への好奇心や語学学習への意欲を高めた点です。この研修がグローバルな視野を広げる一歩となることを期待しています。



台湾では たくさん写真を撮れ!

2-1 芋川 蒼也
(中野市立中野平中学校出身)



2学年は11月4日から4日間、台湾の研修旅行へいってきました。

一番楽しかったことは大安工高との交流です。交流のレクで借り物競争をしました。とても楽しかったです。台湾の学生は英語を使うのがうまく、自分の英語のスキルをもっと上げたいと思いました。それと皆さんにおすすめるのは、台湾での思い出や街並みの写真をたくさん撮ることです!きっと自分だけのアルバムになります。この台湾研修旅行を通してクラスの人達とより一層仲が深まり、とても貴重な経験になりました。

忘れられない体験

2-4 上島 健希
(伊那市立東部中学校出身)



「楽しかった」「意外だった」——そんな感嘆が口をついた台湾研修であった。私にとりわけ強烈な印象を刻んだのは、人々のおおらかさ、いや、どこか大らかすぎるほどの気質である。

コンビニで店員がスキャンを忘れた?いいえ、確かに認識はしていた商品を、悪びれもせず袋へ滑り込ませた。日本なら冷や汗ものの場面だが、台湾では誰も眉ひとつ動かさない。その文化の懐の深さに、私は思わず息を呑んだ。人生、何もかも几帳面に考え抜く必要などないのだと、その一瞬が教えてくれたような気がした。まさしく你好に始まり謝詞に終わる旅であった。

3・4学年 企業・現場 見学

3学年の県内企業・現場見学が11月6日(木)・7日(金)の2日間で実施されました。各系・コースの専門性に沿ったものづくり現場の見学、社会で活躍する卒業生から仕事内容をお聞きする機会から、学生達は高専での学びと社会との関連を意識できるようになったと感じています。今回の経験が4年次の実務訓練、卒業後の進路選択の幅を広げるきっかけになることを願っています。ご協力頂きました企業・団体の皆様、本当にありがとうございました。

訪問先一覧

3IE1

ヤマハロボティクス株式会社 長野事業所
東洋計器株式会社 本社工場
FCL コンポーネント株式会社
株式会社 JERA 上越火力発電所



3MR: ミネベアミツミ株式会社 軽井沢工場での卒業生との交流

3IE2

株式会社ワイズ
株式会社フクザワコーポレーション
キッセイコムテック株式会社
FICT株式会社



3IE1: FCL コンポーネント株式会社にて製品開発プロセス体験

3MR1・3MR2

各社を午前・午後でクラス毎に交代して訪問
セイコーエプソン株式会社 本社
テスコム電機株式会社 松本工場
山洋電気株式会社 神川工場
ミネベアミツミ株式会社 軽井沢工場



3CE: 夜間瀬川(背割堤)での現地測量の様子

3CE

山ノ内町 夜間瀬川 現地測量
道路工事(長野市徳間~西三才)
砂防工事(信濃町古海)
河川工事(長野市駒沢川)
長野市裾花ダム



3MR: セイコーエプソン株式会社でのエプソンミュージアム見学

地元企業を知る

3MR1 東中 晴輝
(長野市立東北中学校出身)

私の所属するMR系は、セイコーエプソン様、テスコム電機様、山洋電気様、ミネベアミツ



ミ様を見学させていただきました。徐々に進路選択を迫られる時期にありながら、最も身近にある県内企業についてよく知りませんでした。そのため、詳細な説明や質問の機会も得られたのは有意義でした。特に山洋電気様が印象的で、モーターやファンなどで私たちの生活を裏から広く支えてくださっていたことに驚くとともに、自社構築のミスを防ぐ生産システムが非常に興味深かったです。専門科目の知識が役立つことも実感できたので、より勉学に励んでいきたいです。

4学年の企業現場見学が2025年11月5日(水)~7日(金)で実施されました。本校の周辺ではなかなか見ることのできない分野のものづくりを見学するため、工場や飛行機整備場などに行くクラス、建築材料の試験所やトンネル・橋などの社会インフラの現場を見学するクラスなど、内容は多岐にわたりました。企業の方や高専出身者の方との意見交換を通して進路に対する考えを深めることができ、今後の進路選択の参考となる貴重な経験となりました。

4IE1

キャノンメディカルシステムズ(株)(栃木県)
ルネサスエレクトロニクス(株)(茨城県)
マブチモーター(株)(千葉県)
ANA エアーフレームメンテナンスビル(東京都)



3IE2: 株式会社フクザワコーポレーションでの重機操縦体験

4IE2

東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ(株)(山梨県)
田中貴金属工業(株)(神奈川県)
株式会社日本デジタル研究所(東京都)
ソフトバンク(東京都)



ANA エアーフレームメンテナンスビルの飛行機整備場見学

4MR1

NTJ 銅管(株)(愛知県)
三菱重工業(株)(愛知県)
日清オイリオグループ(株)(愛知県)
トヨタ会館(愛知県)



トヨタ会館の見学

4MR2

王子製鉄(株)(群馬県)
(独)国立印刷局(東京都)
(株)ロッテ(埼玉県)
JAL エンジニアリング(株)(東京都)



ソフトバンク見学



JAL エンジニアリング見学

岐路

4IE1 小林 琉唯斗
(長野市立篠ノ井西中学校出身)



企業現場見学にて4社を見学させていただいた。企業によって特色や働き方が多岐に渡ること学んだ。ミッションインポッシブルの名言を借りる。「人生は選択の連続である。」いつかは岐路に立ち、決断を迫られる。それは今日の食事の決断かもしれないし、就職先を決断することかもしれない。この時、大切なのは知識であり経験であり思考することである。様々な企業に足を運び、自ら情報を得ることはどこかで必ず役に立つと私は信じている。「何を犠牲にし、何を求めるのか。」4年生である私達は今、将来を決断するため、大きな選択に迫られている。

令和7年度後援会総会報告

令和7年度後援会総会は、6月28日(土)13時より長野市「ホテルJALシティ長野」において、開催されました。

議事は令和6年度活動について、会務・事業・決算報告、令和7年度活動について、会務計画(案)・事業計画(案)・予算(案)・会則一部改正(案)議案は慎重審議の結果、いずれも原案通り賛成多数により可決されました。

会則一部改正(案)についてですが、後援会費は22,000円から令和8年4月より25,000円に値上げすることが承認されました。

保護者の皆様には、今年度10月にさくら連絡網にて連絡しております。様々の面で大変な状況と拝察し、会費値上げを行うことは大変心苦しいのですが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



令和7年度予算および令和6年度決算報告

【収入の部】

(単位：円)

科目	R7年度予算	R6年度決算	備考
入会金	3,780,000	3,830,000	新入生 20,000/1人・編入生 10,000/1人
会費	23,100,000	23,496,000	22,000/1人
特定預金 取崩収入	2,000,000	5,000,000	
その他収入	3,000	4,342	預金利息・雑収入
繰越	6,649,009	5,033,132	
合計	35,532,009	37,363,474	

【支出の部】

(単位：円)

科目	R7年度予算	R6年度決算	備考
課外活動援助	16,293,000	15,358,217	部活動・高専体育大会旅費・ものづくり支援
教育援助	5,057,000	4,190,056	教育支援・学校行事・専攻科・学生図書
その他援助	6,030,000	5,383,009	学生指導・寮生・国際交流・教員課外活動等支援
運営費	6,000,000	5,289,037	会費・役員旅費・支部運営費・事務費・給与・慶弔費
特定預金	400,000	400,000	事故対策・周年事業・財政安定化積立
予備費	1,752,009	94,146	緊急を要する支出
合計	35,532,009	30,714,465	

校内短信 INFORMATION

長岡・豊橋技科大サテライトオフィス 開所式を開催しました

令和7年11月21日(金)に、長岡技術科学大学鎌土重晴学長の来校に合わせ、本校に設置した長岡・豊橋技術科学大学サテライトオフィスの開所式を実施しました。

本オフィスは、今まで進めてきた教育研究活動の連携や人材交流を、より一層深化させることを目的に設置され、打ち合わせスペースとして使うほか、共同研究拠点としての利用等が期待されます。開所式当日は、看板掲げ式及び合同セッションと題した意見交換会を両機関の関係教職員間で行い、今後のオフィスの利活用方法を議論したほか、「地域の課題解決へ共に取り組める拠点にしていきたい」との認識を共有しました。



表紙のこぼれ

『隻眼の残像』の向こう側 — 野辺山45m電波望遠鏡

リベラルアーツ教育院 教授 大西 浩次

2025年4月に公開された映画『名探偵コナン 隻眼の残像(せきがんのフラッシュバック)』では、長野県が物語の重要な舞台として描かれ、物語の始まりと終わりに国立天文台 野辺山宇宙電波観測所が登場した。スクリーンに映る45m電波望遠鏡は、架空の物語を支える装置であると同時に、現実宇宙からの微弱な信号を受け取り続けてきた科学の眼でもある。写真に写るアンテナは、積雪時に天頂方向へ向けることで雪の付着を防ぐ。この姿は観測停止ではなく、自然と折り合いをつけながら宇宙を待つための静かな姿勢である。夕方までの雪がやみ、夜空には冬の星々が現れた。可視光の星と不可視のミリ波 — 異なる波長で宇宙を見つめる二つの世界が、同じ空の下で交差している。流行や物語の熱が去った後も、アンテナは変わらず空を仰ぎ続ける。本作は、その時間の持続性を記録した一枚である。(2025年2月11日 国立天文台 野辺山宇宙電波観測所 撮影：大西浩次)

(注)略称について

工学科 IE:情報エレクトロニクス系、MR:機械ロボティクス系、CE:都市デザイン系、LA:リベラルアーツ教育院
旧学科 M:機械工学科、E:電気電子工学科、S:電子制御工学科、J:電子情報工学科、C:環境都市工学科
専攻科 AP:生産環境システム専攻、AE:電気情報システム専攻

「学園だより」バックナンバーは以下にアクセスすることにより、PDFでダウンロード可能です。<https://www.nagano-nct.ac.jp/>